

1. 研究課題名：
種内競争を用いた特定外来生物（オオヒキガエル）の
駆除法の開発



2. 研究代表者氏名及び所属：
原村隆司（京都大学白眉センター）

3. 研究実施期間：平成 26～28 年度

4. 研究の趣旨・概要

特定外来生物であるオオヒキガエルは、日本では石垣島や小笠原諸島などに定着し、生物多様性を破壊している。そのため、早急な防除・駆除法の開発が必要である。

本研究では、オオヒキガエルが持つ生態や行動、種内競争等を利用した新たな駆除法の開発を目的としている。このような外来種が持つ特徴を利用した駆除法は、在来種や生態系にも悪影響を与えることもなく、地元住民の方々と協働して行っていける。

本研究成果により、外来種問題の解決が期待され、在来種や生物多様性の保全への大きな貢献が期待できる。

5. 研究項目及び実施体制

種内競争を用いた特定外来生物（オオヒキガエル）の駆除法の開発
（京都大学白眉センター、京都大学フィールド科学教育研究センター）

6. 研究のイメージ

課題番号 4RF-1402

課題名 種内競争を用いた特定外来生物（オオヒキガエル）の駆除法の開発

